

保護者の皆様
地域の皆様

さくらの学び舎 世田谷区立笹原小学校
校長 大場 一輝

令和5年度 学校改善策についての結果報告

～1年を振り返って～

令和5年度の総括的評価を学校関係者評価委員会の方々にしていただきました。

(1) 人とのつながり

本校では、年間の重点目標の1つとして、「多様性を認め合い、よりよい集団をつくる子どもを育てる」を設定しました。

よりよい授業を行えるようにするために取り組んでいる校内研究では、「対話的・協働的な学びができる子どもを育てる—認め合い、高め合う学級をつくる工夫の具体化」をテーマに、主として学級会活動の時間を中心に実践研究を積み重ねました。その結果、互いの意見を受け止め、みんなの意見や願いを1つにまとめる「合意形成」に取り組む姿を多く、見ることができました。また、学級会活動にとどまらず、他の教科等の授業の中でも、他者の意見を聞いたうえで「なるほど、…」「それ、いいね。」などの言葉が授業の中でも多く、聞かれるようになってきました。

そのような成果があった一方、コロナ禍で人と直接関わり合う機会が減少していたことにより、日常のコミュニケーションを適切にすることができず、円滑な学校生活に支障を来す場面がありました。これらについては、引き続き、解決や改善に向けた取組を継続していかなければなりません。

(2) 地域とのつながり

「子どもの声に耳を傾け、地域の方々と共に学ぶ機会」をつくってきました。地域の方々に支えられ、子どもたちが活躍できる場をつくっていただきました。また、学校運営委員会をはじめとする多くのサポーターのご支援により、キャリア教育の一環として、高学年を対象とした「ドリーム・プロジェクト」など、将来を生きる子どもたちに必要な「気持ち」を育む時間もつくることができました。

一方、そのような取組が行われていることに対する周知について、課題があるのではないかとのご指摘を評価委員会から受けています。今後も、正しい情報の広報についても、一層、意を用いたいと考えています。

◎子どもたち、地域・保護者の方々、そして、教職員によって築いた幾多のつながりによって、数々の宝物を創ることができました。ここに、年間を通じて、学校の取組へご理解をいただき、お力添えをしていただいたすべての方々に感謝の気持ちをお伝えいたします。ありがとうございます。